



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月1日

企業・団体名 株式会社 齊藤組

代表者名 代表取締役社長 齊藤 武幸

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日（宣言日又は令和5年4月1日）～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
	【目標】 「14歳の挑戦」の積極的な受け入れ
1	【実施状況】 令和5年は、7月3日～7日の5日間実施。地元の井波中学生2名を受け入れ。 令和4年に初めて実施した(株)マイナビ【locus(ローカス)】との共同事業のフィールドスタディ(会社見学・職場体験)に関しては、令和5年度は砺波高校と高岡南高校2校を受け入れ。 さらに新しい取り組みとして、南砺市と富山国際大学の「地域づくり実習」にも参画。これまで以上に地域の子どもたちに建設業について知ってもらう機会提供ができた。
	【目標】 物品購入・調整における省資源、省エネ、安全等環境への配慮
2	【実施状況】 物品購入の際は、引き続き事前に環境配慮物品(グリーン購入対象物品等)の有無を確認の上、対象物品を優先的に購入。 現場や事務所で排出された鉄くずやアルミ缶などは分別リサイクル業者へ持込。(令和5年度は鉄くず3,251kg、アルミ缶124kgを持込。)
	【目標】 ICT技術を活用した災害対策のための技術向上
3	【実施状況】 若手技術者の育成のため、補助金なども利用しながら講習会を実施。 現場作業でもICT施工を積極的に実践で使用。作業効率も向上し生産性の向上に繋がった。 近年は大雨による豪雨災害や地震による土砂崩れなどの災害復旧工事の施工も増えており、今後さらに技術力を高め、ICT施工を様々な場面で取り入れていきたい。

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。